



坂本 雅彦

奈良工業高等専門学校 学生主事

平成16年4月の独立行政法人化に伴い、本校の教育理念である「創造の意欲」、「幅広い視野」、「自律と友愛」をベースに捉えつつ、「国際社会でも活躍しうる豊かな人間性と独創性を有した、実践的かつ専門的技術者及び研究者を育てる」ことを、新しい時代に向けた本校の教育指針としています。これに基づいて4つの学習・教育目標が明記されていますが、その中にある「実践能力」・「課題解決能力」と「コミュニケーション能力」・「豊かな人間性」は、言わば車の両輪で、これら両者を調和的に育成・実践していくことが「自主的・継続的」な学習を促し、ひいては学習・教育目標の達成につながります。

「コミュニケーション能力」・「豊かな人間性」を高い規範意識を備えた人間の素養として捉えたと、新入生オリエンテーションをはじめホームルーム、交通安全教室、卒業生と語る会、安全対策講習会、人権合同特活、人権教育特別講演会、単車安全講習会、保健衛生教室等はまさに人間の素養の向上を図る場となります。さらに、クラブ・学生会活動はじめロボコン、プロコン、デザコン、英語プレコン等の各種コンテストへの参加、高専祭・スポーツ大会、学生チャレンジプロジェクト等の各種の様々な課外活動は、人間の素養のさらなる発展・向上に役立ちます。一方、規範意識を向上する機会も、学生生活上の様々な中にあります。ここでは、自転車の交通ルール・マナー、スマホ携帯利用時のモラル・マナー、そして他者とのかわりにテーマを絞って規範意識の向上に向けた取組を皆さんにお願いしたいと思えます。

最初に、自転車の交通ルール・マナーに関して、本年度発生した交通事故及び苦情件数は、両者ともすでに昨年度の実績を上回る20件及び22件(H26年3月6日現在)、それぞれ発生しています。高齢者や児童生徒など往來の多い本校周辺の道路事情にあつて、交通弱者を含む相手の立場に立った思いやりのある対応が必要です。どんなに急いでいてもスピードの出し過ぎや飛出し、脇見、交通ルール(車道及び左側通行、並進禁止、夜間時のライト点灯、信号遵守など)違反、そして、ヘッドホンやイヤホン、携帯電話やスマートフォンを使用しながらの運転、雨天時の傘さし運転などの行為は、非常に危険で大きな事故につながる行為です。自転車安全利用5則を守り、規範意識を高めた安全運転を心がけてください。昨年12月1日、改正道路交通法が施行され、自転車道が道路の路側帯を走る場合、車道と同じ左側通行に統一されました。これは、交通事故対策を強化し、道路上での安全性を高めるための対策であり、併せて違反した場合の罰則を強化するものです。交通安全に対する規範意識向上の徹底をお願いします。

なお、スマホ携帯の画面を見つめながら・操作をしながら歩く「歩きスマホ」は、周囲への注意が散漫になり、通行量の多い本校周辺では非常に危険です。事故防止とマナー向上の取組をお願いします。

一方、最近では自転車による人身事故で高額な賠償を命じた判決が多数報道されています。自転車に乗る側の責任として、新年度入学生から自転車通学の保険加入を義務付ける検討を進めています。現在、自転車通学している皆さんの中で保険に未加入の場合は、この機会に検討してみてください。

次に、スマホ携帯利用時のモラル・マナーに関して、LINE、Twitter、Facebook、Mixi等のSNSをはじめ各種のインターネットサービスは、その利便性からもはや社会インフラとなっています。その反面、これらインターネットサービスを介した情報により犯罪やトラブルに巻き込まれる事例が急増しています。インターネットは「公的な空間」です。したがって、各種インターネットサービス等を介してのむやみな情報発信は控え、やむを得ず発信する際は、次のモラル・マナーを必ず守ってください。

- 相手を思いやる気持ちを持つ(人の心を傷つけるようなことをしない)
- インターネットの情報を鵜呑みにしない(受け取った情報が信頼できるかよく考える)
- 個人情報を知らない人に教えない(IDやパスワードは自分でしっかり管理する)
- 発信する内容に責任を持つ(「何を書き込んでも何を送っても自由」ではない)

インターネットは、閲覧制限をかけた、たとえ親しい友人だけのグループ内であっても、一旦、書き込んだり送ったりした情報は、必ず拡散し、それが永久に残り続けることとなります。ネットに匿名性は無いと考えてください。したがって、その使い方を誤ると大変なトラブルに発展する可能性があることを十分に自覚した上で使用してください。一方で、違法・有害な情報サービスを誤って利用することがないようフィルタリング機能の設定をはじめ、迷惑メール受信拒否設定や利用時間制限等をかけて物理的防御を図りつつ、常に自身の利用状況を踏まえた使用ルールを保護者とも相談して決めてください。昨年10月1日、奈良県青少年の健全育成に関する条例が改正され、青少年のインターネット利用を適切に管理する努力義務が保護者にあることなどが挙げられています。冬季休業中に郵送した「インターネット等の適切な活用のための助言・指導について」の資料等も参考に、高い規範意識を持って使用ルールづくりをしてください。

最後に、他者とのかわりを、「礼儀正しく・温かい心で接する・協力し助け合う・感謝する」など、「一期一会」の心で大切にすることは、自身の「コミュニケーション能力」を鍛え・磨くことでもあり、より実りのある充実した学生生活を送る上で欠かせません。歌人の依万智氏は、歌集「サラダ記念日」にて、「青春という字を書いて横線の多いことのみなぜか気になる」と詠んでいます。青春時代に横線＝学生生活上の人間関係をはじめ悩みや挫折などはつきないと思えます。が、担任をはじめ全教職員が皆さん一人一人を応援しています。必要に応じて学生相談室やハラスメント相談室などを利用することで、立ちほだかる問題は必ず解決に向かいます。むしろその問題が自身を成長させるハードルと捉え、向き合うことも時に大切です。規範意識の向上に取組ながら、失敗を恐れずに積極果敢なチャレンジ精神で学生生活を過ごし、より魅力ある人間へと成長し続けてくれることを切に願っています。

